

ブリティッシュ アメリカン タバコ ADR(BTI)

【セクター】 タバコ

NYSE

【市場】



【企業概要】

英国のロンドンに本社を置くタバコメーカーで、フィリップモリスインターナショナルに次ぐ世界第2位の規模です(中国タバコを除く)。1902年に英国のインペリアル・タバコと米国のアメリカン・タバコ・カンパニーの合弁事業として設立され、2017年1月には米国のタバコ業界2位のR.J.レイノルズ・タバコを買収しています。主力製品は、タバコでは「Dunhill」「Kent」「Camel」「Lucky Strike」など、次世代製品では、加熱式タバコで「glo」、電子タバコ(ベイパー)で「vype」「vuse」などを擁します。

【業績】(単位:売上高、純利益は百万ポンド、EPS、1株配当、BPSはポンド、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

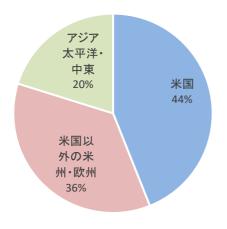
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	25,684	7,453	3.24	2.18	29.2	10.5	49.1
23.12期	27,655	8,460	3.71	2.31	33.7	9.4	49.3
24.12期(予)	27,852	8,234	3.70	2.40	26.7	13.7	-

※EPS:1株当たり利益、BPS:1株当たり純資産、ROE:株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

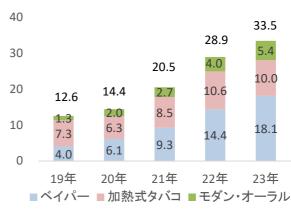
【主要指標】

地域別売上構成比(2023年)



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

新カテゴリーの売上(億ポンド)



(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

紙巻きタバコに対する規制リスクが高まっていることを踏まえ、加熱式タバコ、ベイパー、モダン・オーラル(かぎたばこの「VELO」)など、健康リスクを低減した製品を強化しています。健康リスクを減じた新カテゴリー製品の売上を2025年までに50億ポンドに高め、収益化を2024年に達成する目標です。次世代製品の開発に今後も15億ポンドを投資する意向です。米国でベイパーの主要ライバルとなっていたアルトリアの「JUUL」がFDA(米食品医薬品局)から販売禁止となったために、同社の売上目標達成は早まる可能性もあるとみられています。

【見通し・注目点】

2023年12月期の売上は、新カテゴリー製品の売上が前年比16%増(為替の影響を除いて同21%増)となって、全体では売上が前年比1.3%減(為替の影響を除くオーガニック成長率は同3.1%増)、調整後EPSは同5.2%増となりました。新カテゴリー製品は、目標よりも2年早く2023年12月期に部門レベルでの黒字化を達成しました。2024年12月期について、世界のタバコ販売数量は前年比約3%減少するとの事業環境を前提に、同社の売上と調整後営業利益とも前年比1桁台前半の伸びを見込み、新カテゴリー製品の売上は2025年に50億ポンドの目標に向けて前進すると述べました。

米国株式One Pager



本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。